



平成26年度12月期

事業計画

日本マクドナルド株式会社
代表取締役社長兼最高経営責任者

サラ・カサノバ



すべてを、お客様のために

戦略フレームワーク

マクドナルドの独自性強化
変化するお客様の需要への対応
店舗環境の向上



戦略フレームワーク

マクドナルドの独自性強化

変化するお客様の需要への対応

店舗環境の向上



マクドナルドの強み

- メイド・フォー・ユー
- キッズ&ファミリー
- ホット&フレッシュ ブレックファスト
- ドライブスルー
- アメリカ文化と日本らしさの融合
- コア・メニュー：
ビッグマック、マックフライポテト
ピープル（ホスピタリティ）



マクドナルドの独自性強化



1. キッズ&ファミリー&ホスピタリティ

2. ホット&フレッシュブレイクファスト

3. バリュー（お得感）

McDonald's



マクドナルドの独自性強化

1. キッズ&ファミリー ホスピタリティ



店舗設備



メニュー



サービス



イベント

マクドナルドの独自性強化

2. ホット&フレッシュ ブレックファスト



マクドナルドの独自性強化

3. バリュー（お得感）



ハンバーガー



プレミアム
ロースト
コーヒーS



チキンクリspb



戦略フレームワーク

マクドナルドの独自性強化

変化するお客様の需要への対応

店舗環境の向上



変化するお客様の需要への対応



1.メニュー

2.マックデリバリーの拡大



McDonald's



変化するお客様の需要への対応

1.メニュー

メニューバラエティーの拡大



期間限定商品による 新しいフードニュース



変化するお客様の需要への対応

2. マックデリバリーの拡大



戦略フレームワーク

マクドナルドの独自性強化
変化するお客様の需要への対応
店舗環境の向上



店舗環境の向上



1. 積極的な既存店投資
2. 継続的な店舗配置の最適化





すべてを、お客様のために



平成26年度12月期

業績予想

日本マクドナルド株式会社
財務本部執行役員

今村 朗

業績予想

全店売上高 5,050億円

対前年比 +0.1%



業績予想

經常利益 **117億円**

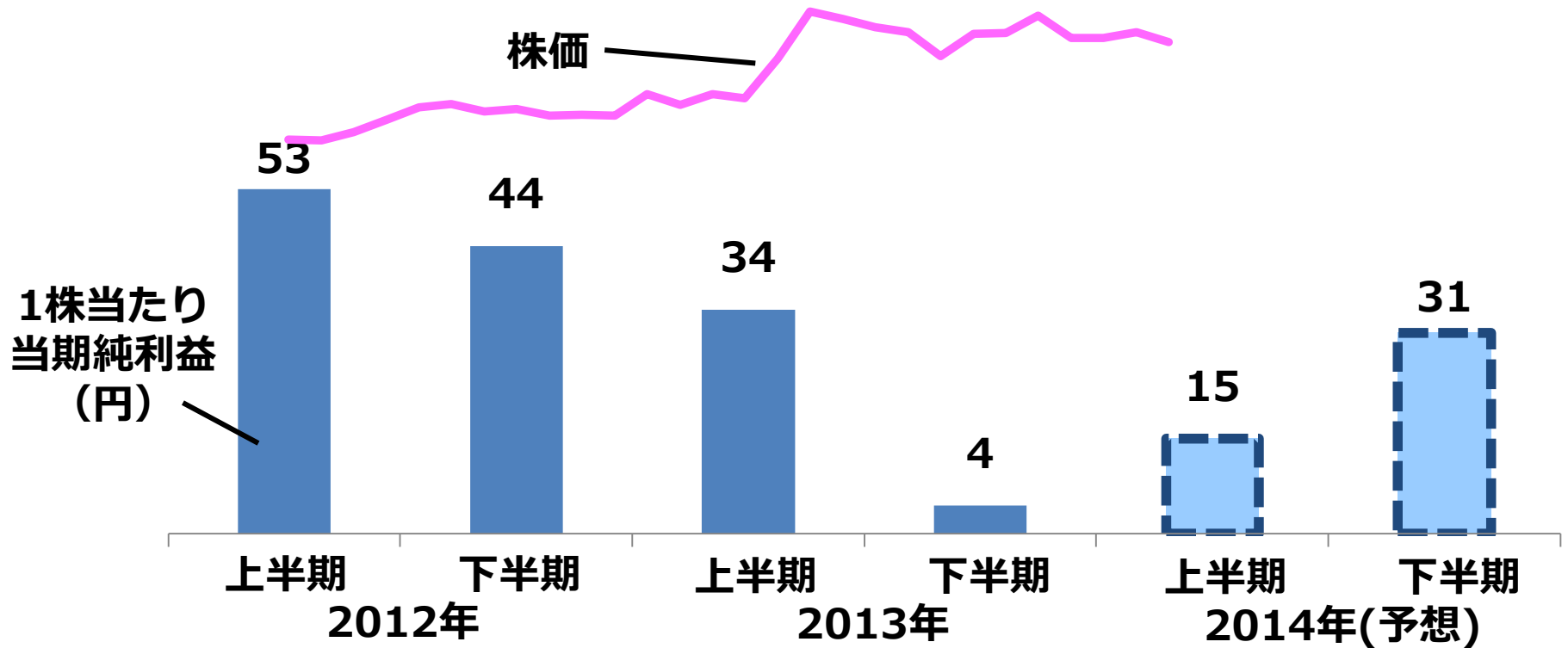
対前年比 +4.5%

当期純利益 **60億円**

対前年比 +16.8%



1株当たり当期純利益及び株価推移





すべてを、お客様のために